

呉工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	建築史Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0265		科目区分		専門 / 選択必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	建築学科		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	藤岡通夫他『建築史』市ヶ谷出版社、2010年（建築史Ⅰの教科書を引き続き利用）						
担当教員	岩城 考信						
到達目標							
1. 産業革命以降の西洋における近代建築の発生について説明できる。 2. 西洋の近代建築様式について説明できる。 3. 明治以降の日本における近代建築の導入過程とその発展過程について説明できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
産業革命以降の西洋における近代建築の発生		産業革命以降の西洋における近代建築の発生についての確に説明できる。		産業革命以降の西洋における近代建築の発生について説明できる。		産業革命以降の西洋における近代建築の発生について説明できない。	
西洋の近代建築様式		西洋の近代建築様式についての確に説明できる。		西洋の近代建築様式について説明できる。		西洋の近代建築様式について説明できない。	
明治以降の日本における近代建築の導入過程とその発展過程		明治以降の日本における近代建築の導入過程とその発展過程についての確に説明できる		明治以降の日本における近代建築の導入過程とその発展過程について説明できる		明治以降の日本における近代建築の導入過程とその発展過程について説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HC)							
教育方法等							
概要	建築史は建築学分野の包括的な専門知識と能力を養うために設けられた科目である。先人達の建築技術向上の努力や建築文化および建築様式の歴史的な流れを学び、授業を通して知的探求心を身につけることを目的とする。						
授業の進め方・方法	本授業は、講義形式で行う。建築史Ⅱでは、前半に西洋における近代建築の発生と発展の過程、後半に日本における明治以降の西洋近代建築の技術や様式の導入とその発展を学ぶ。						
注意点	勉強方法 1. 教科書『建築史』を繰り返し読み歴史の流れをつかむ。 2. 配布資料により写真を確認し、重要な用語と造形の特徴を覚える。 3. 授業中に不明な点は質問し、理解の度合いを確かめる。 4. この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習のための課題を実施する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	近代建築の発生		産業革命と建築、鉄骨造建築の発展の理解		
		2週	近代建築運動のはじまり		近代建築運動の発生、ウィリアム・モリスの工芸運動、アールヌーボーの理解		
		3週	近代建築の造形的開拓		ワグナーの建築理論、ゼツェッションの理解		
		4週	近代建築様式の確立		芸術と産業の融合、RC造の開拓の理解		
		5週	WWⅠ後の近代建築01		表現主義、デ・ステイルの建築の理解		
		6週	WWⅠ後の近代建築02 国際建築の発展		バウハウス、エスプリ・ヌーボーとル・コルビュジェ、バウハウスと国際建築の理解		
		7週	中間試験		西洋近代建築の理解		
		8週	答案返却・解答説明、1930年代の近代建築		近代建築の普及、北欧における地域主義、ライトの有機的な建築の理解		
	2ndQ	9週	日本の近代建築・産業革命と洋風建築		洋風建築の伝来、外国人技師の活動、コンドルの来日と日本人建築家の理解		
		10週	耐震建築構造の発展		新構法の導入と耐震構造の工夫、耐震設計理論の研究の理解		
		11週	近代建築思潮と国際建築様式の展開01		西欧近代建築思潮の影響、分離派建築会、関東大震災後の公共建築の理解		
		12週	近代建築思潮と国際建築様式の展開02		国際建築様式の展開、様式主義建築の近代化、統と近代建築との交差の理解		
		13週	WWⅡ後の近代建築（世界）		アメリカと工業主義の建築、現代建築の諸傾向の理解		
		14週	WWⅡ後の近代建築（日本）		産業の発展と近代建築の普及、戦後の代表作品の理解		
		15週	期末試験		日本の近代建築の総合的な理解		
		16週	答案返却・解答説明		日本の近代建築の総合的な理解		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	近現代都市の特質と課題について説明できる。	4		
				近代の都市計画論について説明できる。	4		
				現代にいたる都市計画論について説明できる。	4		
				日本および海外における近現代の建築様式の特徴について説明できる。	4		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
專門的能力	90	0	0	0	0	10	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0